

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成18年第38週 平成18年9月18日(月)～平成18年9月24日(日)

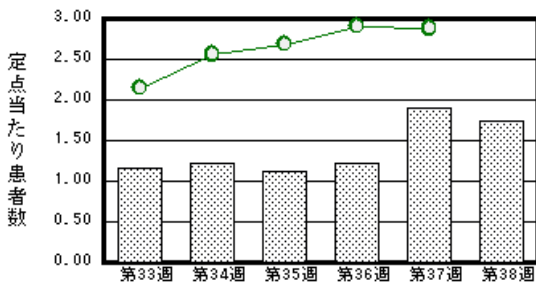
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

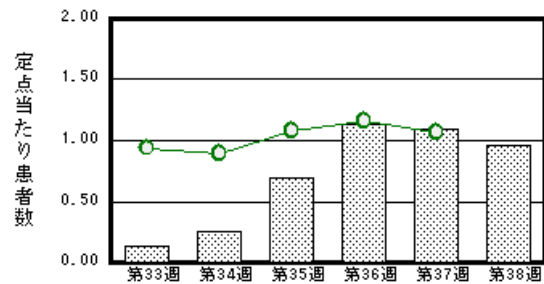
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎 (40名) 手足口病 (22名) 突発性発疹 (19名)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (15名) ヘルパンギーナ (10名)
- 【腸管出血性大腸菌感染症】伊万里保健福祉事務所管内で3名、唐津保健福祉事務所管内で16名 (O157) の届出がありました。手洗いや食材の加熱等を心がけ予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>

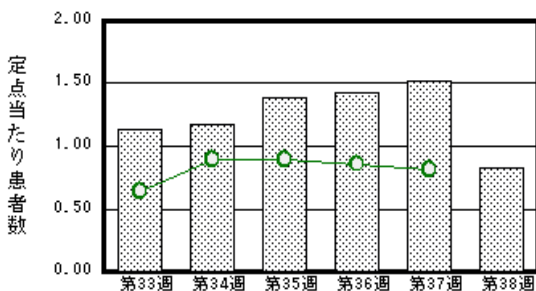
感染性胃腸炎



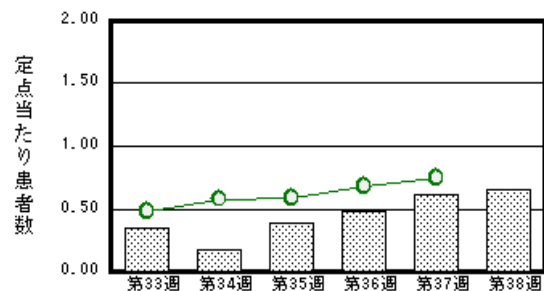
手足口病



突発性発疹



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (IDWR) 2006年第36週号 (9月4日～9月10日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第36週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第36週に診断された158例についてみると、0～9歳が最も多く46%を占めた < A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 > 通常小児の間で発生する疾患であり、今後、冬季ピークに向かって発生が増加するものと思われる
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2006年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2006年 / エコーウイルス18型2006年
・ 速報	小学校におけるエコーウイルス18型の集団感染事例 - 大分県 / 無菌性髄膜炎患者からのB群コクサッキーウイルス5型の分離状況 - 福井県
・ 海外感染症情報	インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / 米国における大腸菌O157 H7の流行
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)		
患者 (住所地)	1名(高校生女性) (伊万里保健福祉事務所管内)	1名(高校生男性) (伊万里保健福祉事務所管内)	13名(高校生男性5名、女性8名)* (唐津保健福祉事務所管内)
無症状病原体保有者	0名	1名	3名
感染原因・感染経路	不明	不明	調査中
平成18年届出累計	16件73名 (今週3件19名)		
平成17年	同 期	25件50名	
	届出累計	31件59名	

*中国(北京、上海)への修学旅行関連(9月20日記者公表分)

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成18年第38週 平成18年9月18日(月)~平成18年9月24日(日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤	計	前週	全国 (第37週)
		インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)				1 0.20		1 0.03
小児科 (23)	RSウイルス感 染症		2 0.67				2 0.09		128 0.04
	咽頭結膜熱		3 1.00	2 0.50	3 1.00		8 0.35	7 0.30	1688 0.57
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	7 0.88	6 2.00	2 0.50			15 0.65	14 0.61	2225 0.75
	感染性胃腸炎	8 1.00	19 6.33			13 2.60	40 1.74	44 1.91	8574 2.88
	水痘	3 0.38	1 0.33	3 0.75		6 1.20	13 0.57	7 0.30	1442 0.48
	手足口病	3 0.38	8 2.67	8 2.00	1 0.33	2 0.40	22 0.96	25 1.09	3179 1.07
	伝染性紅斑	3 0.38		3 0.75		1 0.20	7 0.30	6 0.26	712 0.24
	突発性発しん	5 0.63	7 2.33	2 0.50	2 0.67	3 0.60	19 0.83	35 1.52	2409 0.81
	百日咳								33 0.01
	風しん								5 0.00
	ヘルパンギーナ	2 0.25	1 0.33			7 1.40	10 0.43	15 0.65	1110 0.37
	麻しん (成人 麻しんを除く)								7 0.00
	流行性耳下腺炎	2 0.25		2 0.50	1 0.33		5 0.22	11 0.48	2930 0.98
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								8 0.01
	流行性角結膜炎								699 1.13
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								2 0.00
	無菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17		28 0.06
	マイコプラズマ肺炎		2 2.00				2 0.33	1 0.17	145 0.33
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								6 0.01
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たりの患者数

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成18年第38週 平成18年9月18日(月)~平成18年9月24日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (禽病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
0~5ヶ月		0~5ヶ月	1							1						0~5ヶ月								
6~11ヶ月		6~11ヶ月		2		3	2	1		12						6~11ヶ月								
1歳		1歳	1	1		6	3	5	1	6			4			1歳								
2歳		2歳		2	1	8	1	9					4		1	2歳								
3歳		3歳		2	1	4	4	5	2							3歳								
4歳		4歳		1	3	2	1		1						1	4歳								
5歳		5歳			4	1	1	1	1							5歳								
6歳		6歳			1	3	1						1		1	6歳								
7歳		7歳			1	4		1	1				1		1	7歳					1			
8歳		8歳			1	3			1						1	8歳								
9歳		9歳			1	2										9歳								
10歳~14歳	1	10歳~14歳			2	2										10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳					1			
20歳~29歳		20歳以上				2										20歳~29歳				1				
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	1	合計	2	8	15	40	13	22	7	19			10		5	合計					1	2		
前期計		前期計		7	14	44	7	25	6	35			15		11	前期計						1		
当期間/前	***	当期間/前	***	1.14	1.07	0.91	1.86	0.88	1.17	0.54	***	***	0.67	***	0.45	当期間/前	***	***	***	***	2	***	***	
増減数	1	増減数	2	1	1	-4	6	-3	1	-16			-5		-6	増減数					1	1		

***は前期計が"0"のとき

